

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	伝統芸能	種目	邦楽
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	かぶしきがいしやあーと・めでいあ・おふいす		
	制作団体名	株式会社アート・メディア・オフィス		
	代表者職・氏名	代表取締役 下田文之		団体ウェブサイトURL
	制作団体所在地	〒	157-0067	最寄駅(バス停) 成城学園前駅
		東京都世田谷区喜多見6-4-13-201		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	ほうがくぐるーぶたまてばこ		
	公演団体名	邦楽グループ「玉手箱」		
	代表者職・氏名	代表 清野さおり		団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	266-0034	最寄駅(バス停) 学園前駅
		千葉県千葉市緑区おゆみ野有吉6-11		
	制作団体 設立年月	平成1年4月		

制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 下田文之		歌手役30名楽器演奏者約45名スタッフ7名。 加入には藝術・音楽大学等の専門機関で研鑽積んだ相当の経験者であることが必要。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く		本事業担当者名	長嶺尋深
経理処理等の 監査担当の有無	有		経理担当者	長嶺尋深
本応募にかかる連絡先	メールアドレス			電話番号
	nagamine@art-media.jp			09023197612

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>平成元年4月に株式会社アート・メディア・オフィスを設立。 同時に劇団ミュージカルブラザを設立して子供のためのオペラ・ミュージカルの公演を全国の小学校・中学校・高等学校や、ホール会館などで実施。 平成4年にコンサート部門として東京こども音楽館を設立。 以降、クラシック音楽を基礎とした音楽性の高い児童・青少年向けのコンサートを企画制作し、クラシック・ポップス・邦楽など幅広いジャンルの演奏団体をマネージメントしている。</p> <p>【芸術鑑賞会企画提供作品一覧】</p> <p>◆オペラ・ミュージカル部門◆ ○モーツァルトオペラ「魔笛」○新版ミュージカル「オズの魔法使い」 ○子供のための改作オペラ「魔法の笛」○グリム童話オペレッタ「ヘンゼルとグレーテル」 ○宮沢賢治原作ミュージカル「銀河鉄道の夜」○落語歌芝居「じゅげむ寿限無」 ○ミュージカルコンサート「トラップ一家合唱団物語」</p> <p>◆音楽会・コンサート・その他ジャンル部門◆ ○オーケストラ教室○みんなの音楽会○マリンバ&ハーブコンサート ○ラテンコンサート○金管五重奏と打楽器○サウンスプラスコンサート ○邦楽入門コンサート○中国楽器の音楽会○津軽三味線と和太鼓の世界 ○ピーター・ファンクル文化講演会○その他文化芸術的行事一般の企画制作コンサルタント</p>
	学校等における公演実績	<p>平成元年の会社設立より令和7年までの37年間で各ジャンルの学校公演実績あり。 累計約3,100公演以上。</p> <p>邦楽グループ「玉手箱」の邦楽入門コンサートシリーズに於いては、学校自主公演の他、山形県米沢市教育委員会、岐阜県高山市教育委員会、富山県射水市文化振興財団、福井県文化振興財団の主催で児童・生徒を対象に公演実施。 出演メンバーは全員が東京藝術大学音楽学部邦楽科を卒業後、NHK邦楽技能者育成会などで研鑽を積み、各種コンクールでは最優秀賞を受賞している。 ラジオやテレビ出演をはじめ、国内外の公演実績も多数あり。 文化庁巡回公演事業では平成22年度より連続採択され、今日に至っている。</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>【文化庁巡回公演事業に於ける実績】</p> <p>◆平成22年度 岐阜県立東濃特別支援学校 ◆平成23年度 北海道鷹栖養護学校 ◆平成24年度 栃木県立足利特別支援学校 ◆平成25年度 奈良県立奈良西特別支援学校 ◆平成26年度 長崎県立諫早特別支援学校・長崎県立島原特別支援学校 ◆平成27年度 京都市立鳴滝特別支援学校 ◆令和5年度 広島県立尾道特別支援学校 ◆令和6年度 長崎県立佐世保特別支援学校</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/6u1KLUc97ZI
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	<div>ID:</div> <div>PW:</div>

別添	あり
----	----

【公演団体名 邦楽グループ「玉手箱」】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	たのしいワクワク和楽器体験 邦楽入門コンサート「とびだす！音の玉手箱」 ～心にひびく日本の伝統音楽～			
企画のねらい	●プロの演奏者との合同演奏。初めての和楽器体験の感動と思い出を● 和楽器を間近で見たり聴いたり触ったりして、実際に音を出す体験を通し、日本の伝統音楽を、より身近に感じてもらうことがこの事業での目的です。 日本に古くからある音楽を子供たちに伝え、さらに新しい現代の邦楽にも楽しんでいただける体験型コンサートとして企画をしております。本公演では、演奏者、児童・生徒さん、先生方との共演を通して、一生に一度しか創り出せない舞台を体験していただきます。			
演目概要・演目選択理由	●日本の伝統音楽の名曲から、親しみやすい現代楽曲を幅広く演奏し、たのしいお話とビジュアルでステージを進行● 箏・三絃・三味線・琵琶など、演奏楽器の紹介や曲の解説を分かりやすくお話しして、初めて和楽器を見たり聴いたりする児童・生徒さんにも親しみやすい演目になっております。 日本の代表曲「さくら」の合同演奏の体験や、玉手箱メンバーの卓越した技巧による生の演奏がこどもたちのこころに響くように。			
児童・生徒の参加または体験の形態	●ワークショップで体験した児童・生徒さんと玉手箱メンバーによる「さくら」の合同演奏● 参加用の和楽器と付属品25点以上を全て、実施団体で持ち込み、舞台設置いたします。 観客の児童・生徒さんとは、日本の童謡や唱歌、親しみのあるアニメソングなどを和楽器による伴奏で歌ったり、手拍子で参加していただきます。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	10～20名 ※共演する児童・生徒さん	
		鑑賞人数目安	全校生 ※保護者・地域の方も参加可能	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【プログラム構成予定】 ●和楽器の音を聴いてみよう！～全員合奏～ オープニングの演奏からスタート。挨拶とメンバー紹介。 ●どんな楽器があるのかな？～楽器の紹介と演奏～ 箏・十七絃・三味線・尺八・琵琶の楽器の成り立ちや音の出し方などを分かりやすくお話しします。 「六段調」「鹿の還音」「祇園精舎」「春の海」「海鳴り」などより、各々の楽器の特徴を生かした曲を演奏します。 ●箏の弾き唄いってなんだろう？～声の出し方の紹介～ 音楽の授業などで習う合唱とは声の出し方が少し違うかもしれませんね！ 「須磨の嵐」「赤壁の賦」「七福神」「松竹梅」などより、唄いながら演奏します。 ●こどもたちとの合同演奏「さくら」～ワークショップ体験の発表・児童生徒さんとの共演～ 日本に古くからある伝統音楽「さくら」。こどもたちも歌って参加しましょう！ ●新しい時代の楽曲を聴いてみよう！～和楽器でアレンジ～ 和楽器でアレンジしたらどんな感じになるのでしょうか、どうぞ楽しみにしてください。 「やさしさに包まれたなら」「ありがとう」「春よ来い」「365日の紙飛行機」などより。 ●みんなで一緒に参加しよう！～歌や手拍子で共演～ 和楽器の演奏に観客のみなさんも元気いっぱいに参加して、会場が盛り上がります。 「勇気100%」「鬼滅の刃」「となりのトトロ」「世界に一つだけの花」他アニメソングなどより。 ●貴重な体験となる一度きりの公演です！～日本や世界の古き良きふるさとの音楽をいつまでも大切に～ 「ワールドトリップ」「世界の民謡メドレー」「日本の四季」などより。			
	公演時間	90	分	
出演者	出演予定者 ○山田流箏曲演奏家●清野さおり●小間夕起子 ○山田流箏曲・平家琵琶演奏家●田中奈央一 ○生田流箏曲演奏家●山本啓代 ○琴古流尺八演奏家●清野樹盟 ○琴古流尺八・薩摩琵琶●長須与佳 他、邦楽グループ「玉手箱」メンバーから6名			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	清野さおり(箏・三絃) 東京藝術大学卒業。NHK邦楽技能者育成会修了。北海道三曲コンクール児童の部第一位、新曲の部第一位。NHK邦楽オーディション合格、全国邦楽コンクール最優秀賞。文化庁新進芸術家国内研修員、千葉三曲協会副会長。NHK-FM、Eテレ出演。 清野樹盟(尺八) 東京藝術大学卒業。北海道三曲コンクール児童の部第二位、尺八の部第一位。大学在学中、人間国宝の山口五郎師に師事。吉幾三、香西かおり公演、NHK-FM、Eテレに出演。 小間夕起子(箏・三絃) 東京藝術大学卒業。NHK邦楽技能者育成会修了。文化庁新進芸術家国内研修員に選出。NHK-FM、Eテレ、国立劇場主催公演、歌舞伎公演などに出演。			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者:	6	名	運搬 積載量: 1 t 車 長: 5 m 台 数: 2 台
	スタッフ:	4	名	
	合 計:	10	名	

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間			時間程度
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出
	前公演8時 午後公演11時	8時～10時 11時～13時		10時30分～12時 13時30分～15時	10分程度	60分～70分	13時予定 16時予定
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月		7月		8月		9月
	22日		17日		10日		19日
	10月		11月		12月		1月
	21日		19日		19日		14日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		141日



- 玉手箱メンバーとこどもたちが共演して「さくら」を演奏。
- ワークショップで体験した成果を本公演で発表しましょう。
- 子どもたちの弾く箏は全て実施団体が持ち込みます。



- ステージが狭い体育館では、子どもたちはフロアで箏を演奏します。
- 子どもたちの箏の音が体育館でも良く聴こえるように実施団体のPA装置で音響効果を高めています。



※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載してください。

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出
がわかる写真)

●箏、十七絃、三味線、尺八、琵琶の工夫をこらした楽器解説と演奏に触れていただきます。●

●十七絃
は大きい。



●三味線は3本の糸が張ってあります。



●三味線は曲によって
バチの種類を変えます。



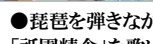
●大きな模型
を使ってお箏
の爪の解説を
します。



●尺八は長さ
によって音が
違います。



●琵琶を弾きながら
「祇園精舎」を歌いま
す。



●尺八は「虚無僧」
の祈りの音楽でした。



●箏の搬入はスタッフ・演奏者全員で行います。



●箏の十三の絃に箏柱を立てて音の
高さを決めます。

「たまたばこ」公演を聴いて
5年 1組()

♪曲や音色などで、すでになに、いかにと感したりしたことを書くこと♪

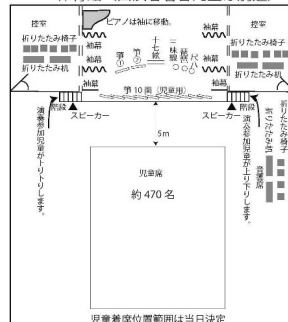
私は、「たまたばこ」の公演を聴いて感したことが2つあ
ります。1つ目は、楽器のきれいな音色です。かきこえて
らった曲は、ほとんど知らない曲でした。しかし、使った楽
器の音色で、初めて聴いた時の印象が、きれいで、あ
やかたたりはれかたりして、すてきな曲というものに
なりました。2つ目は、練習の成果だと思います。私はこと
ひく人ではなかったけど、たまたばこの人たちは五年生の仲間も、
最初から上手にひけたのではなく、たくさん練習をし
て今日みたいになんかできたと思います。私は
外国人で自分のふるさとの文化をやろうとするけど、
せっかく日本に住んでいるから正月などに「春の海」をぜひ
聴きたいです。

●日本に住む外国のこどもの感想文です。

●日本の伝統音楽が世界の人々に伝わるといいですね。

6月11日(水)	【本公演】本公演進行表 会場配置図
8:15 ~ 9:30 ●観衆入場 (5分前) PA機材セット (15分)	
9:30 ~ 9:55 ●玉丁編リハーサル→言葉手エッタ (25分)	
9:55 ~ 10:15 ●お座席整理 (20分) 舞台上演10曲 別座10人×2列演奏	
10:15 ~ 10:25 ●観衆入場 (5分前) (全観客約470名) 舞台のセンターの第3~4段を舞台トにおろす。	
10:25 ~ 10:35 ●開演式 (5分前) 【開演式】 【開演式】 【開演式】 【開演式】 【開演式】 【開演式】 【開演式】 【開演式】 【開演式】 【開演式】	
10:35 ~ 11:10 ●第1部 演奏と解説 (45分) 「さくら」「曲の演奏」「祇園精舎」「ひぐらし」「海人夢」	
11:10 ~ 11:20 ●休憩 (10分前) 休憩時間中 合奏参加児童は舞台上へ。	
11:20 ~ 11:55 ●第2部 (35分前) 児童合唱台「さくら」「七福神」「ワールド・トリップ」おわりの言葉 アンコール	
11:55 ~ 12:00 ●5分前 謝辞 別座席の言葉、等	
12:00 ~ 13:30 ●退去・退席	

体育館 (出演者着替え室は別途)



●本
公
演
進
行
表
と
会
場
配
置
図
で
担
当
先
生
と
打
合
せ
し
ま
す



●公演後のこどもたち
の感想発表。



●お礼の言葉と地元名産品の贈り物贈呈。
こどもたちと学校関係者の心づかいに感謝。日本の伝
統音楽がこどもたちのこころにいつまでもひびくように。

著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要 否		該当あり	該当コンテンツ名	演奏曲
	該当事項がある 場合	権利者名			
		JASRAC		許諾確認状況	採択後手続き予定

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名

邦楽グループ「玉手箱」

】

ワークショップの
ねらい

●日本の伝統音楽を体験を通じて学び、本公演での合同演奏へ。
実施団体が用意した体験用の箏、三味線、尺八を初めて見たり触れたり弾くことで、
楽器の音色や響きを感じていただき、日本の伝統音楽への興味と理解を深めていただきたいと思います。
本公演では玉手箱メンバーと一緒に箏での「さくら」の合同演奏ができるように、丁寧に優しく
指導いたします。

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

1学年程度
※小規模校は複数学年対応可能
※クラス別での対応可能です。

1.ワークショップの約1か月前に教材、楽譜、準備物などが記載された資料を送付。

◆当日までに参加する児童・生徒さんに配布をお願いいたします。

- ①箏、三味線（三絃）、尺八、各楽器の解説書
- ②合同演奏曲「さくら」の箏の楽譜

◆先生には、打ち合わせ用の書類を送付して、詳細を確認チェックします。

- ①ワークショップ当日の進行表と会場設置図面
- ②「ワークショップ実施確認書」の書類

◆ワークショップと合同演奏の様子を下記QRコードをスキャンしてご覧下さい。



2.ワークショップ開始2時間前に学校到着、会場に楽器・用具一式・音響機材を搬入セッティング。

◆先生方のお手伝いは必要ありません。



●箏のセッティング。

●三味線と用具一式。



●箏の爪と絃の番号

●こどもたち用の尺八です。

3.ワークショップの内容。

◆ワークショップはご希望に応じて午前・午後のいずれも対応可能です。

- ①講師の紹介（本公演に出演するメンバーがそれぞれの楽器指導を担当します。）
- ②楽器や楽譜の解説

●特別支援学校では箏をさわって体感してもらいます。



●はじめての箏と楽譜を見入ります。



ワークショップ
実施形態及び内容

③ 箏、三味線、尺八の楽器体験



●グループに分かれて体験。



●教えあって学びます。



●2人で協力して三味線をささえます。



●「ばち」の持ち方を指導します。



●みんなで尺八を持ってみた



●尺八を吹いて音を出す「コツ」を練習します。

④ 合同演奏曲「さくら」を弾いてみる。



●ワークショップの終わりに「さくら」の



⑤ 本公演で共演希望のこどもたちの選出。(積極的な希望者を募ります。)

⑥ 感想発表や質問コーナー。

4. 本公演の打合せ。

◆会場の下見、控室、タイムテーブルのチェックなどの確認をいたします。

5. 楽器・音響機材の搬出。

◆約1時間程度で後片付けをいたします。

消毒用品やゴミ袋は当方が持参してゴミは持ち帰ります。

●ワークショップの進行表と会場設置図で担当先生と打ち合わせいたします。●

公演団体●邦楽グループ玉手箱 制作団体●株式会社アート・メディア・オフィス

ワークショップ進行表 会場配置図 回目 6 年 1 組

第1回目 10:25～11:10 (45分間)

參加兒童 6年1組 ●第1班(8名)●第2班(7名)●第3班(8名)●第4班(7名)計4班(30名)

10:25～10:30 (5分間) 体育館●全員 (あいさつと玉手箱講師の先生紹介、ワークショップの趣旨と目的)

▶各班の箏、三味線、尺八の演奏順番と所要時間、場所等の確認。

▶楽器の取り扱いの諸注意。①箏の上をまたいで歩かない。移動の時は楽器をよけて歩く。

②尺八や三味線バチは振り回さない、落とさない。

③どの楽器も指導者の指示があるまで触らないで大切に扱う。

* 移動と準備（2 分間） 1 班と 2 班は箏のコーナーへ。3 班は三味線コーナーへ。4 班は尺八コーナーへ。

10:32～10:50(18分間) 体育館箏(こと)コーナー ●第1班と●第2班が演奏指導を受ける(箏15面)。

10:32～10:50 (18分間) 体育館三味線コーナー 第3班⇒4班 体育館尺八コーナー 第4班⇒3班。

●3 班は三味線 10:32～10:41 (9 分間)。

移動して尺八 10:41～10:50 (9分間)。

●4班は尺八 10:32～10:41 (9分間)。

移動して三味線 10:41～10:50 (9分間)。

* 移動と準備（2 分間） 1 班は三味線コーナーへ。2 班は尺八コーナーへ。3 班と 4 班は箏のコーナーへ。

10:52～11:10 (18分間) 体育館箏（こと）コーナー ●第3班と●第4班が演奏指導を受ける（箏15面）。

10:52～11:10 (18分間) 体育館三味線コーナー 第1班⇒2班 体育館尺八コーナー 第2班⇒1班。

●1班は三味線 10:52～11:01 (9分間)。

移動して尺八 11:01～11:10 (9分間)。

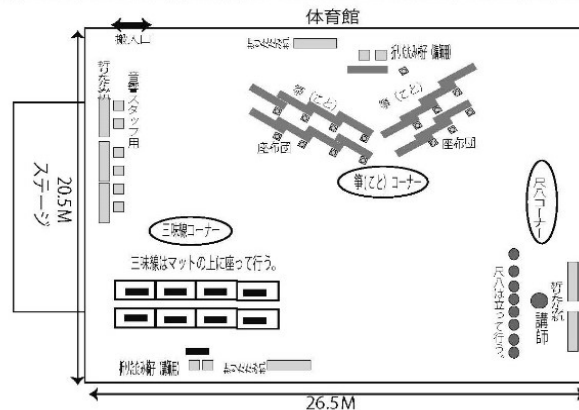
●2 班は尺八 10:52～11:01 (9 分間)。

移動して三味線 11:01～11:10 (9 分間)。

* 移動と終わりの挨拶。▶本公演での演奏参加児童を決める。又は後日決定の打ち合わせ。

▶学校で用意するもの。①講師用折り畳み椅子 10 脚 ②マット（図面参照）1 枚は 1.5M×1M 以上（三味線講習用）
③折り畳み机 7 台

▶団体で用意するもの。①楽器類②座布団 ※会場内のマット、椅子、机等の設置準備は団体が行います。



その他ワークショップに
関する特記事項等

- 日本の伝統楽器の演奏は正しい姿勢で！
和楽器を演奏する時は「正座」を基本とします。
日本文化としての「正座」を体験する良い機会として、無理をせず配慮しながら指導します。
- 体験児童・生徒さん用の座布団は、当方が持参いたします。
- 学校のマイクや音響設備は使用せず、指導者の声がよく聞き取れるように当方で音響機材を持ち込みますので、学校でのご用意は必要ありません。
- 特別支援学校では、事前に担当先生と綿密に連絡を取り合い、ご要望に合わせた授業を行っております。
公演させていただいた尾道特別支援学校様では、補聴器を装着している児童さんに合わせ、当方が持参している音響機材とリンクさせスムーズな体験授業ができました。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

なし

邦楽グループ「玉手箱」

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数発生しています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		条件なし		主幹引き込み電源容量		条件なし	A以上
舞台設置面積		間口	約10	m	奥行	約4	m
		高さ	条件なし	m			
舞台設置場所		フロア対応	条件なし		学校のステージでの対応		条件なし
搬入間口の広さ		幅	応相談	m	高さ	条件なし	m
遮光の要否		不要		緞帳の要否			不要
ピアノの使用について		使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定			
				ピアノを使用しない場合の移動の要否			要
搬入車両(トラック等)の横づけ		横づけ要件なし		トラック横づけ不可の場合の 搬入対応可能距離			m以内
搬入車両の種類		ハイエース		台数	2 台		
搬入車両の大きさ		車幅	2 m		車長	5 m	
備考		ワークショップ実施時に会場下見と打ち合わせを入念に行って、チェックシートと当日進行表でミスマッチの無いように準備しています。ピアノは使用しませんが、移動する際は現場で必ず先生のご指示を仰ぎながら移動いたします。					

学校からの情報

学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。

不要

その他提出が必要な資料
(搬入間口や搬入経路の写真の提出等)

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
	本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	10～20分	本公演前	共演曲「さくら」リハーサル	学校時間割に差し支えないよう、ご相談いたします。
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

別添

なし

【公演団体名

邦楽グループ「玉手箱」

】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

- 邦楽グループ「玉手箱」は国際的な活躍で知られた邦楽奏者の故高田和子氏が、平成7年に東京藝術大学出身の優秀な若手演奏家を集めて、従来の邦楽界の枠を超えて日本の邦楽を世界に、そして日本の子供たちに広めようと結成されました。
- 教育現場に和楽器が導入されたとき高田先生は読売新聞の記事で「日本の伝統音楽を代表する箏や三味線、尺八にも是非この機会に触れてもらいたいと思う。なぜなら、わたしが邦楽を始めたのも小学生の時に聴いた友達の演奏で箏の魅力に目覚めたことがきっかけだったからだ」と述べています。
- 邦楽グループ「玉手箱」は、学校における芸術鑑賞会「邦楽入門コンサート」を数多く実施してきました。
- 現メンバーは、それぞれの分野で個々に先進的な演奏活動、及び邦楽の指導普及活動をしており、その成果を本事業に活かしております。
- 平成22年～令和7年まで巡回公演事業に15年間連続採択され、全国の小中学校、特別支援学校で220余校で公演を実施。小規模校や僻地公演、特別支援学校にも対応できる少数精鋭の邦楽公演企画として公演実績を積み重ねてきました。
- 本事業を通して、全国の多くの子供たちに「本物の日本の良き音色」や「伝統文化の大切さ」を体験の中で感じてもらい、日本の伝統的芸術性を養う一環になるよう取り組んでおります。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

- 見るのも聴くのも初めてのこどもたちに、ワークショップでは演奏者が一人一人に丁寧に向き合い、楽器の仕組みや演奏することの楽しみを知っていただけるよう指導し、本公演での一生に一度の合同演奏発表につなげてまいります。
- 多くの本物の和楽器に触れて自分で音を出して演奏し、その魅力を体感できるように班グループをつくり、ともだちと協力して効果的な学びの時間をつくります。
- ワークショップや本公演では、音響機材・ビジュアル演出を活用し多くの児童・生徒さんに、生の舞台と演奏者の音楽と声が届くように工夫しています。
- 本事業を実施するに当たっては、それぞれの学校の特色にあわせて、子どもたちへの教育効果を高めるために、学校関係者のご要望に沿った柔軟な対応を心がけております。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

- 本事業事務局より実施校と制作団体との直接連絡OKの許可が下りましたら、当方の担当者が校長先生と事業ご担当の先生へお電話にてご挨拶をさせていただきます。
- 学校の行事日程を優先して、ワークショップの日程調整を行います。
- 本事業の円滑な進行のため、ワークショップと本公演の必要項目を記載したチェックシート(タイムスケジュール表、会場設置図等)をFAXやメール、郵送にて各学校に配布し情報の共有に努めます。
- ご不明点やご希望など、遠慮なくご相談していただけますよう丁寧にご対応いたします。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

- より多くの児童・生徒がワークショップや合同演奏に参加できるように、実施団体が多くの和楽器を持ち込みます。
- ワークショップで使用する教材や箏・三絃の楽譜を作成して事前に郵送します。
- 学校巡回公演でのワークショップと合同演奏の様子の分かる動画を配信します。
- 実施校のご意向に沿ったワークショップや本公演になるよう柔軟に対応します。
- 特別支援学校の公演では子どもたちの感性に合わせて個別にやさしく指導します。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

- 本公演等実施後は、今後の授業での活用や児童・生徒さんが本公演の感動を再体験して和楽器への興味が継続できるように、当方が映像などの編集をし、それぞれの学校にお送りいたします。
- 皆さんからの感想やご意見、フィードバックシートを参考にして、継続的な取り組みに生かします。

たのしいワクワク和楽器体験・邦楽入門コンサート

とびだす！音の玉手箱

～心にひびく日本の伝統音楽～



古いものの中に、新しいものがいっぱいあります。

●「玉手箱」と合奏する体験コンサート●

【プログラム構成予定】

- 和楽器の音を聴いてみよう！～全員合奏～
オープニングも演奏からスタート。
- どんな楽器があるのかな？～楽器の紹介と演奏～
箏・十七絃・三味線・尺八・琵琶の楽器の成り立ちや音の出し方などを分かりやすくお話しします。「六段調」「鹿の遠音」「祇園精舎」「春の海」「海鳴り」などより各々の楽器の特徴を生かした曲を演奏します。
- 箏の弾き唄いってなんだろう？～声の出し方の紹介～
音楽の授業などで習う合唱とは、声の出し方が少し違うかもしれませんね。「須磨の嵐」「赤壁の賦」「七福神」「松竹梅」など唄いながら演奏します。
- こどもたちとの合同演奏「さくら」
～ワークショップ体験の発表・こどもたちとの共演～
日本に古くからある伝統音楽「さくら」。
こどもたちも歌って参加しましょう。
- 新しい時代の楽曲を聴いてみよう！
～和楽器でアレンジ～
どんな感じになるのでしょうか、どうぞ楽しみにしてください。
「やさしさに包まれたなら」「ありがとう」「春よ来い」「365日の紙飛行機」などより。
- みんなで一緒に参加しよう！～歌や手拍子で共演～
和楽器の演奏に観客のみなさんも元気いっぱいに参加して、会場が盛り上がります。「勇気100%」「鬼滅の刃」「となりのトトロ」「世界に一つだけの花」他アニメソングなどより。
- 貴重な体験となる一度きりの公演を忘れずに！
～日本や世界の古き良きふるさとの音楽を
いつまでも大切に～
「ワールドトリップ」「世界の民謡メロデー」「日本の四季」などより。

▼みんなで合わせ練習



▼こむそう



▼花束贈呈



- プロの演奏者との合同演奏。ワクワク和楽器体験。
- はじめて和楽器を「みる」「きく」「えんそうする」
- 現代の楽曲を和楽器伴奏で全員合唱します。
- たのしい解説のお話とビジュアルなステージ。
- 日本のむかしの音楽をいまの子供たちにつたえ、新しい現代の邦楽も楽しんでもらえる体験コンサートです。



▲箏、十七絃の解説



▲三味線とバチの解説



▲めずらしい琵琶の演奏



▲子供と先生と近所の方と合同演奏

●邦楽グループ「玉手箱」●

国際的な活躍で知られた邦楽奏者高田和子氏が、東京芸大出身者の若手演奏家を中心に集めて、あたらしい日本の邦楽を日本の子供たちに、世界に広めようと結成されました。

●おもな出演者●

清野さおり (箏・三味線・十七絃)
小間夕起子 (箏・三味線・十七絃)
田中奈央一 (箏・三味線・十七絃)
山本啓代 (箏・三味線・十七絃)
長須与佳 (琵琶歌・尺八)
清野樹盟 (尺八)

※都合により変更することがあります。

■企画制作 ■株式会社アート・メディア・オフィス

